香月美夜先生Q＆A

２０２０／６／17～６／30の間に「小説家になろう」の活動報告で募集した質問にお答えするコーナー。今回はアニメ化の影響か、とても質問が多かったです。お手伝いくださった方々、ありがとうございました。

香月美夜

Qユルゲンシュミットの天文について、月の満ち欠けや、流れ星があったり、星座のような概念などはありますか？　平民向けの創世神話で、光の女神が太陽の女神とされていたので、月の神様もいるのか、そもそもどのような原理で昼夜が繰り返されたりしてるのかとても気になります。地球で言うところの天動説のような感じでしょうか？

A闇の神と光の女神が動くので昼夜が繰り返されます。月は、光の女神が闇の神のマントに隠された姿と言われています。そのため、月の満ち欠けの周期は闇の神のお心次第です。

流れ星は星の神シュテルラートが人間達の様子を見に来る時に現れると言われています。
星座の概念は特にありません。

Q天文学はどうなっているのでしょうか？　月や星を見て季節や日数を数えますか？　旅商人は夜空から方角を見極めているのでしょうか？

A月の色の変化で季節が変わりますから、月を見ているのは間違いありません。夜空の星から方角は見極められません。星は結構動くので、定期的に上り下りする月の方がまだ指針になるかと思います。

Q礎（いしずえ）への魔力供給量は土地の豊かさに直結しますが、地震や竜巻・旱魃（かんばつ）などの自然災害も魔力が満たされていれば防げるのでしょうか。それとも天災は名の通り神々の領域なので防ぎようはないのでしょうか。

A防げるものと防げないものがあります。ハルデンツェルの祈念式で魔力を満たせば旱魃は防げますが、雷の女神フェアドレンナによる大嵐は絶対に起こります。

Qユルゲンシュミットには、吉数と忌み数の考え方が存在しますか？　存在する場合は、何に起因するのか、また具体例などがあれば知りたいと思っています。

A特にないです。強いて言うならば全属性の七が吉数ですね。

Qユルゲンシュミットでは、異教徒はどのような扱いなのでしょうか。

A神々の御加護や祝福を受けられない可哀想な存在ですね。魔術も使えないので、別に脅威でも何でもないですし、基本的には無視かな？　珍しい品々を運んでくる人達くらいの印象です。

Qメスティオノーラが結婚対象に見られないようにしている理由とは何ですか？

Aあの父親と母親を見て育ち、結婚すると碌でもないことになると刷り込まれているからです。

Q神像はどのように作られるのでしょうか？　貴族院のは動いていましたし（台座が動いて

いただけかもしれませんが）、神具が光ったということは魔力が通り抜けていたはずなので、気になります。また、各領地の祭壇の神像や神殿の各地にある神像、フリュートレーネの水浴場の入口の神像も同じ方法で作られているのでしょうか？

A新しい領地を作る時にツェントが礎の魔術と神殿、神具をセットで作ります。そのため、貴族院、中央神殿、各領地の神殿の神像はツェントが、それ以外の小神殿やフリュートレーネの水浴場などにある神像は平民が作った像になります。

Qユルゲンシュミットの地図の、真ん中の円形の中央と書かれている部分は、全部が貴族院ですか？　周囲の、花びらのような形の何も書かれていない部分は何ですか？　そこも中央の領地で、人が住んでいるのでしょうか。

A真ん中の円形が貴族院ですが、同じ平面上にはないので、実際の中央は円形部分も含めて考える感じです。中央に王宮や離宮があり、人が住んでいます。

Q境界線付近は、農地等に不向きな地域が多い為、街道以外は、相互不干渉地帯なのでしょ

うか？

A魔力による境界線があるので不干渉地帯は特にありません。大型の魔獣を仕留めきれずに他領へ追いやって被害が出れば苦情が来ることはありますが……。

Q大領地、中領地、小領地の間に明確な基準があるのでしょうか？

A土地の大きさ、人口、中央への貢献度、歴史などですね。昔は功績や諍（いさか）いの結果によりツエントが領地の境界線を引き直せたので、今とはかなり事情が違います。

Q白の建物に傷を付けると犯罪者になるようですが、扉や、窓、内壁、床板、戸棚を含む内装、看板や、増築部分を含む外装等々で、物を白の建物に固定する時は、釘を使えないのでしょうか？　それとも事前に申請をして許可済みの案件のみ認めてもらえるのでしょうか？

A第三部の小神殿を参照。建築が完成するまで守りの魔術は使われません。改装に関しては申請&許可制です。

Q白の建物も長年の使用で少しずつ轍（わだち）の様に削れたり、風化したりするのでしょうか？

A汚れはしますが、故意に削らなければ魔力が続く限りは削れたり風化したりはしません。

Qユルゲンシュミットには魔力を持つ魔虫もいると思うのですが、人間以上の大きさに成る魔虫はいますか？　また、いるとしたら夏や冬の主レベルにまでなる事もあるのでしょうか？

Aいます。それが強ければなると思います。

Q領都名は、アウブの家名のようですが、王都の名称もツェントの家名でしょうか？　それとも王都は、一つしかないため名称が無いですか？

Aツェントには家名はありません。そのまま中央です。

Q中央貴族間のヒエラルキーは出身領地の順位なのでしょうか？　王や王族との距離なのでしょうか？

Aどちらもあります。エーレンフェストでもフィリーネは下級貴族ですが、ローゼマインの側近なのでヒエラルキーは高くなっていますから。

Q中央神殿の神官たちは何者ですか？　中央神殿の神官が、大領地の領主一族などよりも、王族に反抗的なのが何故なのか気になります。

A中央神殿はツェントの戴冠式などを執り行い、国全体の神事を行うところです。王族になれなかった者も当然います。昔は何人もいるツェント候補の中から次代のツェントを選ぶ際、当代ツェントと中央神殿が協議して指名してきました。そのため、グルトリスハイトを手にしていないトラオクヴァールを中央神殿では正当なツェントと認めていません。他に人材がいないから仕方なく統治をさせているだけ。逆に、大領地の領主一族は自分達がトラオクヴァールを担ぎ上げて王座に就かせたのですから、個人的に思うところがあったとしても基本的にトラオクヴァールの味方です。

Q現王とフェルディナンドの血縁関係って？　ぱっと見は似ていない様ですが、フェルディ

ナンドが先代領主の息子ならば、母方は現王の血族だった？

A アダルジーザにいる女性は傍系王族として登録されるので、アダルジーザの実であるフェルディナンドには確実に王族の血が入っています。ですが、現王の血族かと尋ねられると、うーん……。日本の民法における親族「六親等内の血族、配偶者、三親等内の姻族すべての者」には含まれません。

Q 領主候補生コースで前任の教師を務めていた「おばあちゃん先生」は、トラオクヴァールとどのような続柄の人物ですか？ 彼女は如何(いか)にして政変時の粛正を回避出来たのか。

A 叔母に当たります。先代ツェント（トラオクヴァールの父親）の弟の第一夫人です。クラッセンブルク出身で政変時はアウブ・クラッセンブルクに協力していたため、粛清は免れています。

Q ツェントのフルネームは「ツェント・○○（本人の名前）」になるのでしょうか。家名や父親の名前等が入ってもっと長くなるのでしょうか。

A ツェント・〇〇（本人の名前）のみです。神々に選ばれたツェントは唯一であること。能力主義で得る役割であり、本来は血統で引き継ぐ地位ではなかったこと。ユルゲンシュミットのために尽くすことを血縁より重視すること。これらを示すために家名などは入りません。

Q 政変が終わったのは、ローゼマインが貴族院三年生の時を今年とした場合、何年前ですか？

A どこを終わりとするのかによって、かなり変わってきます。第五王子が勝利した時なのか、神殿に認めさせて王座に就いた時なのか、第四王子を処刑して他の選択肢を消した時なのか、全ての粛清を終えた時なのか……。だいたい十年くらいと考えてください。

Q 政変前に王族から降嫁(こうか)して、生き残っている元王族っているのでしょうか？　彼等が王族を支えることはできないのですか？

A 上位領地に何人かいますし、支えていますよ。大領地並みに優遇されている中領地がある

でしょう？　ただ、彼等も最初から他領へ向かう臣下として育てられているので、ツェントに必要な教育は受けていません。領主候補生コースに毛が生えた程度です。

Qアダルジーザの姫が送られてくる『数代』とはどこ基準でしょうか？　ユルゲンシュミット王、ランツェナーヴェ王、アダルジーザの姫？

Aランツェナーヴェ王です。

Qアダルジーザの実について、六歳半までは衣食住が保障されているとの事でしたが、教育はどの程度行われたのでしょうか？

A女児は傍系王族となるので教育を受けていましたが、男児に向けての教育はありませんでした。ただ、洗礼式前の子供はまとめられていたので、女児の教育を男児も傍らで見ることはできました。邪魔しなければ見ていても構わないって感じです。実際にペンを持ったり書いたりはできませんでした。

Q 領主一族が処刑された廃領地はどこまで維持できている状況でしょうか？　例えば供給の問からは魔力をある程度補えているのか、白い建物や結界、（結界が関係している？）契約魔術などの現状が知りたいです。

A 領地によりけりです。処刑される前に「領主一族である自分達はともかく、他の貴族や領民は救ってほしい」と自ら礎の魔術の場所とそこの鍵を王族に譲り渡した領地、アウブが次期領主に譲っていた鍵を王族が奪って礎の魔術を探した領地、「絶対に知らせてやるか。グルトリスハイトもない其方（そなた）にはなにもできまい。せいぜい困れ」と王族を嘲笑（あざわら）って秘匿した領地……。それによって、それぞれの土地の現状も様々です。

Q ダンケルフェルガーやアーレンスバッハに管理されている廃領地の貴族達は、境界門の管理側（ダンケルフェルガーやアーレンスバッハ側）に移動出来ますか？　十年も経っていれば婚姻などで外に出ていく貴族ばかりで廃領地の貴族の人口は減る一方だと思うのですが、どのような感じなのでしょう。

A 領主一族の側近に取り立てられたとか、城勤めとなって貴族街に家を得られたなどの理由

があれば、移動できます。若い者ほど婚姻で領地の外へ出ようとするので、どんどん寂れています。更に土地の魔力が減る悪循環ですね。

Q旧ベルケシュトックには黒の魔物が出現するようですが、トロンベのように騎士が退治に向かうとなると、ダンケルフェルガーかアーレンスバッハが主体となるのですか？　それとも旧ベルケシュトックの騎士達が頑張るのですか？

A基本的には旧ベルケシュトックの騎士達ですね。ギーベ騎士団が頑張ります。無理そうな規模ならば、ダンケルフェルガーかアーレンスバッハなどの管理者に連絡して増援を頼みます。

Q中央管理の廃領地は黒のマントを羽織って貴族院に入るのでしょうか？

Aいいえ。旧来のマントを使っています。選ばれた貴族の証である黒のマントは使用できません。

Qクラッセンブルクの地下街についていて、冬は重宝しそうですが、夏場もそこで過ごすのですか？　そして、その地下街の高さは建物何階建てくらいですか？

A夏場も寝るのは地下ですね。夏には畑をしたり狩りをしたりするので、外に出ますよ。昔は境界門の開閉があり、地上には夏場だけの屋台がずらりと並んで賑わっていました。

Qダンケルフェルガーにおいて『武より』と言われるにはどのくらいの事が出来るのが普通なのでしょうか？

A騎士見習いと一緒に訓練ができる程度です。

Q唯一夏の主が出るダンケルフェルガーは、夏の気候や過ごし方などどのようにしているのでしょうか？

A過ごし方は魔術具を使えるお貴族様と平民ではかなり違いますね。アーレンスバッハでは夏の昼間、一日で一番暑い時間帯に外へ出る時はほぼ全員が全身鎧を着ています。暑さも寒さも感じにくいので。そのため、ダンケルフェルガーでは全員が容易に全身鎧をまとえ

るようになります。まだ全身鎧をまとえない子供は昼間外へ出してもらえず、建物の中で過ごします。

Q夏の主とはどのようなものなのでしょうか?

A冬の主と同じような感じで発生するので、出現については冬の主参照。ただ、対応の仕方には大きな差があります。エーレンフェストが騎士団一丸となって必死に打ち倒そうとするのに比べると、ダンケルフェルガーでは騎士や騎士もどきが多いため、お祭りの一種になっています。「今年も夏の主が出たぞ!」と、うきうきわくわく出かけていく感じ。

Qドレヴァンヒエル(淡い緑)はダンケルフェルガー(青)やクラッセンブルク(赤)とマントの色の系統が違い、元々そこを任された主流(直系)の血族ではなかったのでは?そうならば、どの様な流れで大領地の一翼を担う立場になったのでしょうか。

A昔は次期アウブ争いの結果、分領して新しい領地を作ることもありました。経緯によって

絶対とは言えませんが、新領地は親の領地と少し色の違うマントを使うことが多かったです。元の領地が滅ぼされ、新しい領地に呑み込まれることもありました。

Q勝ち組領地だったアーレンスバッハの寮監がフラウレルムになったのは政変の際にアーレンスバッハの寮監が死んだからでしょうか？　それとも負け組領地の教師の弟子だったため師匠諸共（もろとも）処刑されて後釜として彼女が寮監として中央に出された形なのでしょうか？

Aどちらかというと後者ですね。処刑はされていませんが、罪に問われた師匠と一蓮托生になることを恐れて引退した寮監の代わりにゲオルギーネが推薦しました。

Q貴族院の地下書庫で、王族と登録された領主一族しか入れないという選別が成されるということは、貴族院と各領地の礎は魔力的に繋がっているということですか？

Aそうです。元々王族が魔力供給する礎だけではユルゲンシュミットの端々まで魔力を行き渡せるのに時間と魔力がかかって大変なので、支所的な役割を果たすために各領地の礎を置きました。そのため、繋がりがあります。

Q「王族と図書館」でヴァイスが地下書庫から本は持ち出せないと伝えた時、オルタンシアが震えながら口元を押さえたのはどのような理由でしょうか。ローゼマインが語った通り、本好きだからという理由だったのでしょうか。

A読みたかったからです。あとは、王族にとって重要な情報があるのか知るために知識の番人になったのに、司書が中に入れないとは思っていなかったので。

Q閉架書庫についてです。以前は司書から実力を認められていなければ貸し出しを断られた、と記述がありました。実力とは、魔力量や属性ですか？　純粋な知識量ですか？　それとも総合的な判断ですか？

A読んでいる本や以前に貸し出した本の内容から察せられる知識量に加えて、教師間での評判、成績、図書館の出入りの頻度や延滞記録など当人の言動を含めた判断になります。

Qシュヴァルツとヴァイスについて。ソランジュは二人、と言い、ローゼマインは二匹と言っています。ソランジュは同僚、仲間として、ローゼマインは主としての扱いだと思いま

すが、シュヴァルツとヴァイスの方にも、二人に対して同様な認識の違いがあるのでしょうか？

Aソランジュの認識は正しいです。ローゼマインは見た目が大きいウサギなので二匹です。シュバルツとヴァイスにとっては「姫様（主）」「協力者（主の側近）」「それ以外（図書館の利用者）」という感じの認識になります。

Q貴族院図書館の司書（知識の番人）はメスティオノーラに忠誠を誓っていますが、それは名捧げとは別の理（ことわり）のものでしょうか。例えば誰かに名捧げしている状態でも知識の番人になれるのでしょうか。

Aなれません。全く同じではありませんが、神様に名捧げをしている状態に似ています。

Q「残った魔力の使い道」で聖杯の中の魔力を図書館の魔術具に注いだシーンですが、どのような魔術具だったのでしょうか。

A図書館の礎の魔術具ような物です。魔力が枯渇すれば、図書館が崩壊します。

Q貴族院の狩場での採取と、領地での採取とではいろいろな違いがあると思いますが、貴族院の狩場は他領の素材も満遍なく採取できるものなんでしょうか。だとしたら領地内で狩場の再現とか考えないのかなと。

A貴族院は神々に最も近いところですから、一番偏りが少なくて種類が豊富です。自領にない素材を手にできます。ただ、その土地にある素材を効率的に採集するための魔法陣なので、領地内に設置しても採集できる素材の種類が増えるわけではありません。

Q領地対抗戦で使われている「魔物を出す魔法陣」を悪用すれば、テロや要人暗殺などが出来てしまいそうです。どういう原理で起きているのか、また、何らかの使用制限やセーフティなどがあるのでしょうか?

A魔物は術者の魔力で形成されています。競技場が範囲指定になっているので、観覧場所にも入れません。

Q貴族院の寮に通じる扉は、領地の増減に対応できるように沢山あるようですが、全部でい

くつあるのでしょうか？

Ａ中央棟にある転移用の扉の内、各寮や離宮へ繋がる物は全部で百です。それぞれの領地が寮とお茶会室で二つずつ使っています。王族の王宮や離宮は一つだけです。

Ｑ貴族院の領主候補生の親睦会で、領主候補生が在席していない場合は上級貴族とありますが、その場合、側近はいないので一人での参加になりますか？

Ａいいえ。報告に齟齬（そご）があっては困るので一人で参加はしません。挨拶をする代表者、親睦会の様子を書き留める文官見習い、騎士見習いで、最低三人は参加します。

Ｑ貴族の医者はどのようにしてなるのでしょう？　ふぁんぶっく４では、救護室の担当教師とその弟子が……とありましたが、文官コースとかでは学ばないのでしょうか？

Ａ魔力の流れや応急手当など人体に関する講義、薬や医療系魔術具の調合、怪我人や病人の看護の仕方などを満遍なく学ぶため、騎士コースにも文官コースにも側仕えコースにも必修の講義があります。必修講義を取っていること、癒しの魔術を容易に使えることが医者

の最低条件です。個人の得意不得意はありますが、現代と違って専門分野などは特にありません。医者の割合的には調合の得意な文官が多いですが、側仕えの中にも医者を目指す者はいます。リーゼレータはローゼマインのために目指していましたが、調合の魔力量と属性が足りなくてなれませんでした。フェルディナンドは側仕えコースの看護関係の実技を取っていないので、厳密には医者ではありません。

Q 妊娠出産にかかわるのは、医師でなければならないのでしょうか？　出産経験のある側近なら医師である必要はないのでしょうか？

A 絶対に医師でなければならないということはありません。領主一族や上級貴族でなければ、医師がおらず出産経験のある女性だけが付いていることも多いです。

Q 領地の礎への魔力供給は領主候補生だけができるものなのでしょうか？　石さえ染めていれば誰でも供給できるものなのでしょうか？

A 礎の魔術を染めたアウブの許可がある者でなければ、石だけ染めても供給の間には入れま

せん。

Q領主一族は供給の間で魔力を供給しますが、大体何日おきにやるのでしょうか？　また、全く供給しなくても何日くらい持つとかありますか？

A領地によりけりです。魔力供給を日課にしている領地もあれば、土の日に皆で揃って大量に供給する領地も、余裕のある人が交代で行う領地も、領主一族の人数が少なすぎて毎日頑張って供給してもカツカツの領地もあります。供給なしで何日持つのかは領地の大きさ、供給されていた残量によって違います。

Q星結びの儀式を受けずに結婚することはできますか？

A婚姻届を出さなければ夫婦になれないように、星結びの儀式を経ずに結婚関係と認められることはありません。内縁の妻という立場はなく、愛妾（あいしょう）と呼ばれます。

Q領主一族は領主会議で星結びをしますが、第一夫人が既にいて、第二夫人や第三夫人を娶（めと）

る場合も領主会議で星結びをするのですか。新郎が領主一族ならば、上級貴族の第二夫人や第三夫人でも領主会議で星結びをするのでしょうか。

A そうです。他領から第二夫人や第三夫人を得ることもあるのでお披露目として。また、第二夫人や第三夫人はその時の状況によって領主会議に出ることもあるので、顔見せが必要ですから。

Q 貴族は一夫多妻制のようですが、妻の上限は三人と決まっているのですか？

A 貴族街の敷地内の離れの数を考えると、妻と愛妾を足して三人が上限になります。貴族街では上級貴族でも別宅を勝手に建てられず、領主に申請して借りる形です。全ての貴族が集う冬の社交界の時期に無理が出るので、貴族の妻を三人以上持つことはできません。ギーベなど、貴族街以外の場所ならば建物を建てられるので、三人の妻以外に平民の愛妾を囲うことは可能です。

Q 複数夫人がいる場合役割が決まってるようですが、対外的に分かるように第二、第三夫人

の名前には『フラオ』以外に夫人の順位が分かるようになっていますか?

Aはい。第一夫人が『フラオ』、第二夫人は『アシス』、第三夫人は『リトゥン』と呼び方が違います。

Q元々上級貴族でも領主の第一夫人になったヴェローニカと、貴族院を卒業した領主候補生のフェルディナンド、どちらの立場が上なのでしょうか?

A領主の第一夫人と領主一族の一人では、第一夫人であるヴェローニカの方が上です。

Q貴族院の学生間で、領地順位一位の一年生の下級貴族と順位最下位の六年生の上級貴族では、どちらが上の立場になるのでしょうか? 例えば初対面の挨拶を交わす場合、どちらが下の立場になるのでしょうか?

A衣装などの豪華さに差はありますが、正確に上級、中級、下級を一目で見分けることは難しいため、初対面の挨拶は領地の順位が優先されます。また、何かあって領主間の話し合

いに発展すれば、どう考えても領地順位を覆すことはできません。側近を連れている領主候補生でもない限り、基本的には領地順位が優先されると考えてください。

Q当代の弟でも、年が離れていたり、間に人数が多かったら、領主候補生から外れることを前提に育てられるのでしょうか？　他領に領主候補生として向かえるように努力させるのでしょうか？

Aひとまず自領の支えや他領と婚姻できるように領主候補生の方向で育てられると思います。ただ、補佐や他領との橋渡しに向かない性格であれば、洗礼式前に養子に出される可能性もありますね。

Q一度上級に落とされた大人の元領主候補が再び養子縁組などで領主一族になることはできますか。

A不可能ではありませんが、難しいですね。領主一族として残してはならない、もしくは、領主一族に必要がないと判断されたから上級貴族になったはずなので。

Q領主候補生が上級貴族になった場合でも、領主候補生が学ぶ（アウブ限定以外の）魔術は使えるのですか？

A習った記憶を消されるわけではないので使えます。

Q貴族の愛人とはどういう人がなるのでしょうか？　特に子供が出来る程の魔力が有るならそれなりの身分の方だと思うのですが、未亡人とかでしょうか？　クリスティーネの母が気になります。

A子も実家もない未亡人や、血筋は良くても正式に嫁入りができない女性ですね。身食いもそうですし、下働きとして育てられた貴族の子、身寄りを失って持参金や後ろ盾がない場合が多いです。クリスティーネの母は身寄りを失った貴族女性でした。

Q植民地時代のキリスト教やイスラム教の布教で同性愛を忌避する歴史がありますが、日本では衆道は公然と行われていました。ユルゲンシュミットではどうですか？

A子供が出来ないので最高神による結婚は認められませんが、愛妾ならば別に異性じゃなく

ても構いません。

Q領主会議の時、アウブの第一夫人の体調が悪ければ、第二夫人や第三夫人が代わりに社交をしても良いのですか。第二夫人や第三夫人は文官や側仕えとして領主会議で働くことができますか。

Aもちろん構いません。領地の留守番が問題なく、妻達が協力して事に当たれるならば、体調が悪くなくても第二夫人や第三夫人を連れて行って全く問題ありません。

Qアウブが領主会議や領地対抗戦以外で、他領のアウブたちと直接会って会議をすることはありますか。夏や秋に友好的ないくつかの領地だけで集まって取り引きについて話し合ったり根回ししたりしていいのですか？

A政変前は問題ありませんでした。今も勝ち組領地ならば特に問題ありません。中立&負け組領地は反乱を疑われて後が面倒になるので、止めておいた方が無難です。

Q里帰りや婚約と関係なく、他領を訪問できますか？　アウブの許可があれば、ローゼマインがハンネローレに会いにダンケルフェルガーに行ったり何日か滞在したりできるのでしょうか。

A今は無理ですが、エーレンフェストが勝ち組領地として扱われるようになれば可能です。中立&負け組領地では問題視されます。お互いの領主から許可が出ません。

Qカルステッドの家名はどこからくるのでしょうか。祖父は先々代領主なので家名はエーレンフェストで、父であるボニファティウスは領主の子のままなのでエーレンフェスト、またはは先代が領主に決まった時点でなにかに変更されて、それを引き継いだのかだと考えます。

Aジルヴェスターが生まれてカルステッドが領主候補生から降りるためには上級貴族の家が必要になり、先代領主がボニファティウスに新しく家名を授けました。エーレンフェストの領主一族でリンクベルクの始まりなので、ボニファティウス・ゾーン・エーレンフェスト・オル・リンクベルクとなります。

Q領主候補生が務める場合を例外として、騎士団長はアウブの筆頭護衛騎士が務めることはユルゲンシュミット一般のルールないし慣習でしょうか？

A例外はその通りですが、アウブの筆頭護衛騎士が務めるというより、アウブに忠誠を捧げる者の中から騎士団長が選ばれ、その者は自動的にアウブの筆頭護衛騎士になるという方が正しいかもしれません。

Q城または貴族院での生活では、一日に何度お風呂と着替えがある？

A一般的な貴族は朝起きて寝間着から部屋着に。外出や仕事をするならば外出着や仕事のお仕着せに。帰ってきたら部屋着に。お風呂を終えたら寝間着に着替えて就寝という感じですね。領主一族は食堂へ行く時、外出着に着替えます。あと、着替える際に髪型を変える時はお風呂が必須になります。

Q領主一族の朝食は各自自室で一人で取るのか？

A何かの用件があって呼び出された時、ローゼマイン達の場合は神事などでギーベ領を訪れ

た時などは例外ですが、城では基本的には自室で一人です。貴族院では食堂で摂ります。

Qユルゲンシュミットの女性の髪型は、成人は上げる、未成年はおろす、と決まっていますよね？　未成年はうなじを見せてはダメなのか、と思っていたのですが、そういうわけでもなさそうです。

A後ろ髪の長さですね。未成年は肩より長くする、成人女性は肩より上げる。そんな感じです。成人女性の前髪や耳の近くの横髪については、キャラデザの負担を考えて書籍化後に、肩より少し長くなったり多少アレンジしたりしてもＯＫということになりました。

Qもし女性の髪が何らかの事情で短くなった場合、周囲はどのように反応しますか？　ヴェールや鬘(かつら)などで誤魔化せばＯＫなのか、醜聞(しゅうぶん)のように扱われるのでしょうか。

A何があったのかと詮索される事態ですね。鬘などで隠します。ほぼ醜聞です。

Qスカート丈、髪型以外に年齢に関する決まりはありますか？　（服装・見た目に限らず）

A 七歳の洗礼式でもらう左手中指の指輪。貴族院では十歳の冬の社交界でもらうマント（もしくはスカーフ）とブローチ。貴族女性は婚約時にもらう婚約魔石のネックレス。あと、平民女性は十歳くらいからボディスを使い始めます。

Q 雪深い土地に産まれたマインが認識していないだけで、ユルゲンシュミットにはうちわや扇子（せんす）などの文化があるのでしょうか。昔はあったのに廃れてしまったとかなのでしょうか。いえ、表情や口元を隠すときに扇子を使ったら優雅なのでは、と思ったもので。

A 第三部からあってもいいかな？　と考えたこともあったのですが、文章が「扇を広げ」ばかりになるし、第三部以降のモノクロイラストの大半が扇で顔を隠す貴族ばかりになりそうだという非常にメタ的な理由で使っていません。ぶっちゃけ、イラストの確認が大変になるので、左手中指の指輪のような絶対に必要な小道具はできるだけ少ない方が良いです。

Q 女性貴族は足を見られるのが恥ずかしいという文化のようですが、男性側は爪先とか見ら

れたらラッキーとか思うのでしょうか？

A見てはならないと目元を隠しながら、チラッと見るでしょうね（笑）。

Q貴族の方が平均身長が高いとの事でしたが何故ですか？　しっかり食べられるからでしょうか？　マインのように魔力圧縮をしすぎたら成長不良になるので魔力がある貴族の方が背が低そうな気もするのですが……。

A食生活が一番の違いですね。あと、マインやフリーダは身食いで魔力を溜めすぎて成長不良になりましたが、普通の貴族は生まれてすぐに魔力を吸収する魔術具を付けられるので、魔力を溜めすぎることはありません。成長不良にならないのです。

Q貴族の子が生まれて最低半年は母乳を貰わなくてはならないのはどういう理由ですか？

A魔力の関係です。他人の魔力を上手く取り込むことができなくて体調を崩しやすいからです。平民の母親は基本的に魔力がないので問題ないです。貴族の子も平民女性の乳ならば

飲めますが、身分的に平民女性が乳母（うば）に召し上げられることはありません。生まれてすぐに母を失った子は、母親の魔石や父親の魔力から作り出された液状魔力を与えられます。

Q 季節の属性が生まれた子供の属性になるならば、属性の少ない者は特に護衛騎士なら夏に、文官なら秋に生まれた方が得なように思えます。そういった妊娠時期を選ぶことはユルゲンシュミットで一般的に行われていることでしょうか？

A 一般的までいかないと思います。希望通りに妊娠するとは限りませんし、親の希望通りの属性で生まれてもアンゲリカのように子供がそのコースを選ぶか、そのコースに適性があるとは限りませんから。

Q 貴族の食器やカトラリーは基本的に毒検知のために金属製とお聞きしました。さすがに個人で一から作ることはないと思うのですが、他所（よそ）から購入しておわりでしょうか。それともベースとなる食器を購入して、仕上げに自分で魔法陣を刻んでいるのでしょうか。

A 基本的には平民の工房に注文し、できあがった物に魔法陣を刻みます。得意な者に頼む

か、自分で刻むかの違いはありますが、自分の食器には加工をするのが普通です。

Qフェシュピールは高価で貴族が扱うものですから、それなりの質を求められると思います。ならば、一つ作るのもかなりの手間や技術が必要ではないでしょうか？　それほどの需要を満たすほどの職人や取り引きする商人が各領地にいるのですか？

A革の本の製本と一緒で、全ての工程を一つの工房で行うわけではありません。ボディは木工職人、弦は細工職人などそれぞれ仕事が分かれています。また、手入れをしながら長く使う物です。親が使っていた楽器を子が使うことも珍しくありません。中級や下級貴族ならば、貴族院で兄弟が使い回していることも多いです。

Qたまに貴族の服に飾りボタンのようなものが確認できますが、シュヴァルツとヴァイスのように魔石を使ったりしているのでしょうか？

Aかなりの上位貴族ならば魔石を使った物もあるでしょうが、くるみボタンや金属や鉱石の

加工がほとんどです。第二部Ⅰで鍛冶職人がお貴族様のボタンを作っているという会話があります。

Q貴族が使ううがい液は魔力で調合して作るものですか？　平民でも作れるレシピですか？

A側仕えが作ります。貴族の側仕えがいなければ、自分で作ります。平民には作れません。

Qフェルディナンドとローゼマインの仕事量が多すぎる気がしますが、実際どの程度の仕事をしているのでしょうか？　ちなみにローゼマインと同年代の普通の領主候補生はどの程度するものなのでしょうか？

A優秀な文官くらいの仕事量です。できる人のところへ仕事は集まりがちですからね。困ったものです。他領の普通の領主候補生は、領主の補佐をする成人の領主一族に見守られながら少しずつ執務を覚え、領地の貴族と交流して縁を作っている途中です。神事をしつつ新産業を立ち上げ、中心として事業にガッツリ関わっているなんてことはありません。

Qヴァッシェンで出た水は飲めますか？　唱えて出るのは魔力なのでしょうか、水そのものなのでしょうか？

Ａ飲めません。洗浄の魔術による魔力なので、水そのものではありません。

Q魔術の呪文の詠唱は声を出さないと効果がないのですか？　神に祈るのだから祈って魔力を捧げれば、声に出さなくても魔術を使うことができるのでしょうか？

Ａ声を出さなければ神に届きません。

Q多すぎる魔力を体に留めると、体に悪くて成長が遅くなるとありますが、老化も遅いのでしょうか？　それとも早くなったり体調が悪くなりやすくなるのでしょうか？

Ａ老化が遅いのではなく、成長不良で体調が悪くなりやすい感じです。

Q自分の魔力で作った鎧や武器は、本人が気絶したら消える？

Ａ身体に触れているなど、魔力供給が続いていれば消えません。

Qレーギッシュの鱗（うろこ）が全属性の魔石になったのは染めた人間が全属性だったからでしょうか？　ダームエルでも全属性の魔石になりますか？
A染めた人間の属性によります。ダームエルでは全属性の魔石になりません。それから、そもそも魔力量が少なすぎて鱗を魔石にできません。

Qローゼマインやフェルディナンドは感情の起伏によって目が虹色になりますが、これは全属性だからでしょうか？　例えばダームエルのような属性の少ない貴族の場合は自分の属性の目の色に変わるのでしょうか？
Aそうです。属性によって色合いの複雑さは変わります。ダームエルの場合は灰色に黄色が混じって浮かぶ感じになります。

Q魔力の多い人を、その人より魔力の低い人が染めることはできますか。
A魔力感知の範囲内ならば可能です。

Q魔力量に差があると子ができないそうですが、お互いを染め合うことも難しいのですか？

A難しいですね。魔術具や薬があれば多少は可能ですが、差が大きすぎると、普通は片方が一方的に染まります。

Qハイデマリーが毒を受けてお腹の子とともに亡くなりましたが、お腹の子も魔石となるのでしょうか。

A母親の魔石にくっついた形になるので独立した魔石にはなりません。お腹の子の成長具合によってはほとんど確認できないこともあります。

Q魔物が死なないように素材を剥いでいくみたいですが、その後魔物が死んだときにできる魔石は死ぬ前に取られた素材の分、質が落ちているのでしょうか。

A箇所が違うので、質が落ちるということはありません。苦痛や恐怖で感情が膨れ上がる分、魔石に流れ込む魔力が増えるので、どちらかというと質が上がります。

Q人の魔石について、ユルゲンシュミットの人間はみな多かれ少なかれ魔力を持っていますが、一般の平民は魔石にはならないようです。どの程度の魔力があれば魔石化するのでしょうか？

A下級貴族の下限程度です。

Q魔石の質が良いというのはどういう意味でしょうか？　魔力の質が良ければとても固く、質が悪ければあまり固くないなどの違いがありますか？

A魔力含有量、魔力容量、属性数、魔力の濃さ、染まりやすいかどうかの柔軟性など複数の項目があります。その時に必要な項目に合わせ、総合的に判断されます。

Q盗聴防止の魔術具のデザインをアニメの設定資料で見たのですが、あれは親機が範囲型の盗聴防止の魔術具ということでしょうか？　子機は四つなので最大四人で使用することが可能ということでしょうか？

Aそうです。範囲指定にするには、子機で範囲を決めて親機で起動する感じです。個人同士

で話すのは最大四人です。

Q オルドナンツの石は持ち主のものなのですか？　誰のオルドナンツか分かるようになっているのですか？　皆で使い回しをしているのでしょうか？

A 飛んできたオルドナンツは返事をして持ち主に返すのが基本です。ただ、どれが誰の物か判別する手段はないので、一度に多くのオルドナンツが来た時は、どれが誰のか気にせずに返すので使い回しっぽくなります。

Q 貴族も弁当を食べると思いますが、どんな入れ物に入れていますか？

A 状況や階級によりけりですね。ローゼマインの側近達がヒルシュール研究室へ昼食を運ぶ時や、土の日の採集場所でのピクニックでは、魔術具を使って味が落ちないように頑張りますが、下級貴族が自分の昼食を持ち出す時は普通の箱に入れるだけになりますし、騎士が長期の素材採集で外へ出る時はお湯でふやかす簡易食糧が革袋に入っている感じです。

Q貴族の雨具について知りたいです。平民と似たようなものを使っているんでしょうか？

A見た目は似たような感じです。つばの広い帽子と撥水(はっすい)加工されたマントです。その撥水加工に魔法陣を使っているところが平民との違いですね。

Qドライヤーのような魔術具はある？

A熱風ではありませんが、風の魔石を利用した冷風の出てくる魔術具はあります。

Qコンラートの使用していた子供の魔術具はフィリーネの母親の魔石から作られた物とありましたが、フィリーネの母が生前使用していた子供の魔術具はどうなったのですか？

Aフィリーネが使っています。

Qユレーヴェは一度使うと再使用不可ですよね？　使用後は破棄ですか？

Aそうです。空の魔石を突っ込んで、溶け出した魔力を回収したら廃棄します。